

「基礎から応用技術で見るゴムのトライボロジーⅦ」

主 催 : 一般社団法人日本ゴム協会 研究部会・トライボロジー研究分科会
 協 賛 : 日本化学会、高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本機械学会、
 (予定) 日本合成樹脂技術協会、日本材料学会、日本接着学会、日本複合材料学会、日本分析化学会、
 日本レオロジー学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本トライボロジー学会 (順不同)

「ゴム・エラストマーの摩擦・摩耗は複雑な現象であり、日々新たな知見が明らかにされている。本シンポジウムではゴム・エラストマーのトライボロジーの基礎的現象の理解を助けるとともに、その応用につながる新規技術を紹介する。」

日 時: 2026年1月21日(水) 10時20分～17時05分

場 所: 東部ビル5階とオンライン(ZOOM)併用によるハイブリッド開催

※オンライン開催のみと変更となる可能性があります。

受講料: 日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 無料

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は1口2名様まで会員扱いの受講料で受付けます。

シニア制度対象会員 12,100円(60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

定 員: 会場(東部ビル): 35名

※定員に達し次第、オンライン参加をご案内させていただく可能性がございます。

申込要領: 下記QRコードまたは弊会ホームページ(<https://www.srij.or.jp>)よりお申込みください。

※受講票の発行はいたしません。

※請求書・領収書は、マイページよりダウンロードできます。

参加者には2025年1月14日(水)以降に当日のご案内を事務局よりお知らせいたします。

テキスト: 電子媒体にて配付いたします(開催前に閲覧用PWをお知らせいたします)。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

送金方法: 開催前日までに、銀行振込にてご納入ください(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847

一般社団法人日本ゴム協会)。誠に恐れ入りますが、振込み手数料は貴方でご負担ください。また、一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問 合 先: 一般社団法人 日本ゴム協会 ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03(3401)2957 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

時 間	演 題	講 師
10:20～10:25	開会のあいさつ	トライボロジー研究分科会主査 岩井 智昭 【座長】金沢大学 岩井 智昭
10:25～11:25	「粘弾性特性に基づく熱可塑性エラストマー(TPR)の凝着摩擦設計」	名古屋工業大学 前川 覚 氏 幅広い産業で利用される熱可塑性エラストマーを対象に、粘弾性特性と凝着摩擦の関係を解析し、設計指針を構築する。
11:35～12:35	「高分子複合材料の摩擦」	工学院大学 西谷 要介 氏 高分子材料の摩擦と高分子トライボマテリアル向けフィラーの概要などを説明した上で、高分子複合材料の摩擦を理解することを目的とする。 【座長】(一財)化学物質評価研究機構 伊東 寛文
13:40～14:40	「高圧ガスを扱う水素エネルギーシステムにおける高分子材料の適合性評価」	(一財)化学物質評価研究機構 藤原 広匡 氏 高圧ガスを扱う水素エネルギーシステムで使用するゴムなどの高分子材料を対象に、摩耗特性やガスシール性能を含む高圧ガス適合性評価手法の開発と測定結果を紹介する。 【座長】横浜ゴム(株) 網野 直也
14:50～15:50	「回転用オイルシールの摩擦と潤滑メカニズム」	NOK(株) 青柳 彩子 氏 材料技術としゅう動面の可視化技術の進展によるオイルシールの摩擦制御と潤滑機構の理解を概観し、その最新知見を紹介する。

16 : 00～17 : 00 「ゴム摩耗に伴う高周波振動と摩耗粉の大きさの関係」 毛利 浩 氏

ゴムの摩耗に伴い高周波振動が発生する。これが摩耗を起こす原因と考えられその振動数と
摩耗粉の粒径の関係について調べた。

17 : 00～17 : 05 閉会のあいさつトライボロジー研究分科会副主査 網野 直也

※プログラムは一部変更になる場合がございます。